



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 サカイオーベックス株式会社  
コード番号 3408 URL <http://www.sakaiovox.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松木伸太郎

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 室坂浩一

TEL 0776-36-5800

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	18,685	13.9	1,117	1.5	1,635	5.4	1,048	△7.4
26年3月期第3四半期	16,406	3.2	1,100	△8.2	1,550	5.3	1,132	51.7

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,467百万円 (△18.7%) 26年3月期第3四半期 1,805百万円 (124.6%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年3月期第3四半期	16	27	—	—
26年3月期第3四半期	17	55	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	24,788	—	13,770	—	—	55.3
26年3月期	23,179	—	12,323	—	—	53.0

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 13,713百万円 26年3月期 12,284百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
26年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	25,000	13.5	1,450	4.0	2,150	14.0	1,350	1.3	20.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	68,362,587 株	26年3月期	68,362,587 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	3,907,826 株	26年3月期	3,841,648 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	64,467,779 株	26年3月期3Q	64,532,250 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、株高、円安傾向が続き景気は緩やかに回復基調で推移しましたが、消費増税に伴う需要の反動減による個人消費の低迷が長期化していることに加え、円安による輸入原材料価格の上昇や物価の上昇が懸念されるなど、依然先行きは予断を許さない状況となっています。

このような経営環境の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業況は、市況の回復により全てのセグメントで増収となりました。利益面では、円安による原材料及びエネルギー費等の増加はあったものの、増収効果と製造原価の低減に努めたこと等により、営業利益は増益となりました。また、経常利益も、持分法投資利益の増加もあり増益となりましたが、四半期純利益は税金費用の増加により減益となりました。

当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は18,685百万円と前年同期比2,279百万円(13.9%)の増収となり、営業利益は1,117百万円と前年同期比の16百万円(1.5%)の増益、経常利益は1,635百万円と前年同期比84百万円(5.4%)の増益、四半期純利益は、1,048百万円と前年同期比83百万円(△7.4%)の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

## (染色加工事業)

当事業では、スポーツ用途は減少したものの、主力のユニフォーム用途や婦人衣料用途等が増加し増収となりました。利益面では、原材料費やエネルギー費は高止まりしているものの、増収となったことに加え、生産ロスの削減、コストダウンによる製造原価の低減に継続的に取り組んだことから増益となりました。

当事業の売上高は、9,562百万円と前年同期比614百万円(6.9%)の増収となり、営業利益は485百万円と前年同期比70百万円(16.9%)の増益となりました。

## (繊維販売事業)

当事業では、テキスタイル事業は、ユニフォーム、スポーツ用途など強みを持つ分野での販売活動を更に進めると共に、産業資材等の新規用途開拓に注力しました。アパレル事業は、製造コストの上昇に対応するため、製造拠点の多様化に積極的に取り組むとともに、企画機能を活かした商流の開拓に努めました。また、テキスタイル事業、アパレル事業ともに縫製事業との連携を深めるなど、自社素材による一貫加工品の営業開発に注力しました。酒伊貿易(上海)有限公司は、アパレル事業との連携をより一層強化し、販路の拡大に向け継続的な取り組みを進めました。以上により売上は増収となったものの、利益面では、円安により製造原価が上昇したこと等により減益となりました。

当事業の売上高は、5,067百万円と前年同期比89百万円(1.8%)の増収となり、営業利益は388百万円と前年同期比114百万円(△22.7%)の減益となりました。

## (その他の事業)

その他事業のうち、電子機器事業は、主力のFA制御機器、自動制御機器の他、電気工事、システム関連いずれも堅調に推移しました。水産資材事業は、中層浮魚礁を中心に、沖縄県での営業活動に重点的に取り組みました。織布事業は、高密度織物、婦人衣料向け糸加工とも堅調に推移しました。建設不動産事業は、大口物件の完成工事に注力すると共に、コストダウンによる利益確保や小口、リフォーム物件等を含む受注活動に努めました。複合部材事業は、的を絞った販促活動を行うことで、商品特性を最大限に活かせる市場用途への営業展開を本格化させました。縫製事業は、主力のキャリア向けカットソーの受注拡大及びODMビジネスの販路開拓に注力しました。

その他事業の売上高は、4,055百万円と前年同期比1,575百万円(63.5%)の増収となり、営業利益は236百万円と前年同期比101百万円(74.5%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,608百万円増加して24,788百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の増加などにより1,071百万円増加して10,432百万円となり、固定資産は、有形固定資産は減少したものの、投資その他の資産の増加により537百万円増加して14,355百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ160百万円増加して11,017百万円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の増加などにより286百万円増加して7,074百万円となり、固定負債は、借入金の減少などにより125百万円減少して3,942百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,447百万円増加して13,770百万円となりました。これは、株主資本が1,014百万円増加して、その他の包括利益累計額がその他有価証券評価差額金の増加などにより414百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の53.0%から55.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績及び第4四半期における経営環境を踏まえて、平成26年5月14日に公表しました通期の連結業績予想を下記のとおり修正しました。

平成27年3月期通期 連結業績予想数値の修正 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	25,000	1,200	1,700	1,250	19 37
今回発表予想 (B)	25,000	1,450	2,150	1,350	20 94
増減額 (B - A)	—	250	450	100	—
増減率 (%)	—	20.8	26.5	8.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	22,034	1,393	1,885	1,333	20 66

(ご参考)

平成27年3月期通期 個別業績予想数値の修正 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,000	1,000	700	10 85
今回発表予想 (B)	18,200	1,280	850	13 18
増減額 (B - A)	200	280	150	—
増減率 (%)	1.1	28.0	21.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	17,330	1,276	825	12 79

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の前平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しています。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が164百万円減少し、利益剰余金が106百万円増加しています。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,150,246	2,188,415
受取手形及び売掛金	3,914,631	4,436,722
電子記録債権	134,813	462,051
商品及び製品	982,844	946,510
仕掛品	506,325	754,701
原材料及び貯蔵品	346,274	331,488
その他	1,359,672	1,347,067
貸倒引当金	△33,077	△34,062
流動資産合計	9,361,729	10,432,895
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,952,961	2,838,389
機械装置及び運搬具(純額)	1,162,930	1,005,892
土地	2,755,193	2,718,291
リース資産(純額)	69,126	43,518
建設仮勘定	609	54,217
その他(純額)	48,543	45,850
有形固定資産合計	6,989,364	6,706,159
無形固定資産		
のれん	45,538	38,707
その他	113,937	104,256
無形固定資産合計	159,475	142,964
投資その他の資産		
出資金	3,981,719	4,563,723
その他	2,688,798	2,944,153
貸倒引当金	△1,289	△1,821
投資その他の資産合計	6,669,227	7,506,055
固定資産合計	13,818,068	14,355,179
資産合計	23,179,798	24,788,074

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,317,018	3,819,671
短期借入金	1,839,976	1,784,550
未払法人税等	418,965	32,200
賞与引当金	466,414	256,467
その他	745,777	1,181,850
流動負債合計	6,788,152	7,074,740
固定負債		
長期借入金	2,639,353	2,334,505
退職給付に係る負債	864,402	697,517
資産除去債務	106,154	107,050
その他	458,215	803,380
固定負債合計	4,068,125	3,942,453
負債合計	10,856,277	11,017,194
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,655,044	4,655,044
資本剰余金	2,037,362	2,037,362
利益剰余金	5,224,895	6,251,323
自己株式	△799,069	△810,861
株主資本合計	11,118,233	12,132,869
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	479,809	696,253
繰延ヘッジ損益	2,954	35,666
為替換算調整勘定	826,500	951,995
退職給付に係る調整累計額	△143,134	△102,930
その他の包括利益累計額合計	1,166,130	1,580,984
新株予約権	—	14,076
少数株主持分	39,156	42,950
純資産合計	12,323,520	13,770,880
負債純資産合計	23,179,798	24,788,074



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	16,406,134	18,685,237
売上原価	13,859,156	16,024,335
売上総利益	2,546,977	2,660,902
販売費及び一般管理費	1,446,074	1,543,189
営業利益	1,100,903	1,117,712
営業外収益		
受取利息	1,768	5,353
受取配当金	39,114	38,164
持分法による投資利益	438,635	466,793
その他	38,460	63,770
営業外収益合計	517,978	574,081
営業外費用		
支払利息	58,203	49,544
その他	9,701	7,173
営業外費用合計	67,904	56,718
経常利益	1,550,976	1,635,075
特別利益		
固定資産売却益	270	7,969
投資有価証券売却益	700	—
助成金収入	22,502	864
補助金収入	—	20,000
保険差益	13,365	—
特別利益合計	36,839	28,833
特別損失		
固定資産売却損	331	—
固定資産除却損	1,634	386
固定資産圧縮損	10,266	—
その他	—	750
特別損失合計	12,231	1,136
税金等調整前四半期純利益	1,575,584	1,662,773
法人税、住民税及び事業税	348,534	283,611
法人税等調整額	92,145	326,521
法人税等合計	440,679	610,132
少数株主損益調整前四半期純利益	1,134,904	1,052,641
少数株主利益	2,491	3,778
四半期純利益	1,132,412	1,048,862

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,134,904	1,052,641
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	200,098	216,458
繰延ヘッジ損益	12,820	32,711
為替換算調整勘定	5,811	7,284
退職給付に係る調整額	—	40,204
持分法適用会社に対する持分相当額	452,135	118,210
その他の包括利益合計	670,866	414,869
四半期包括利益	1,805,770	1,467,510
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,803,239	1,463,716
少数株主に係る四半期包括利益	2,531	3,794

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,947,700	4,977,763	13,925,464	2,480,670	16,406,134	—	16,406,134
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	23,937	12,455	36,393	452,493	488,886	△488,886	—
計	8,971,638	4,990,218	13,961,857	2,933,163	16,895,021	△488,886	16,406,134
セグメント利益	415,661	502,525	918,187	135,602	1,053,790	47,112	1,100,903

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、電子機器事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額47,112千円は、セグメント間取引消去5,424千円、各報告セグメントに配分していない全社費用41,688千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の調整額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,562,389	5,067,121	14,629,511	4,055,726	18,685,237	—	18,685,237
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	13,767	9,655	23,423	383,202	406,625	△406,625	—
計	9,576,157	5,076,777	14,652,934	4,438,928	19,091,863	△406,625	18,685,237
セグメント利益	485,911	388,454	874,365	236,629	1,110,995	6,717	1,117,712

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、電子機器事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメント利益又は損失の測定方法)

第1四半期連結会計期間より各セグメントの業績をより適切に評価するため、全社共通費の配賦方法を変更しています。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が、「染色加工事業」で16,059千円、「繊維販売事業」で436千円、「その他事業」で262千円、それぞれ増加しています。